

大いなる飛躍へ

 **JA上川中央**

2009

NO.10

発行・上川中央農業協同組合

愛別町本町125

Tel(01658)6-5311

編集・総務課









# 「新年にあたり」

北海道農業協同組合中央会

会長 飛田 稔 章

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

平成21年度の輝かしい新年をご家族の皆様とともに迎えられたことを心からお慶び申し上げます。

顧みれば、昨年の北海道農業は、春先に一部地域で降雪等被害がありました。米の作況指数106をはじめ、畑作物も総じて良好な年でありました。生乳生産も前年度を上回る等生産者の皆様方の努力が結実した年でありました。これも偏に農家の皆様方のご努力の賜物と深く敬意を表する次第であります。

経済動向では原油価格等が乱高下し、米国発の金融不況が世界経済を大混乱に陥れる等過去に記憶のないほどの一年でありました。また一方では、世界規模での食

料不足問題が取り上げられ、一部の発展途上国では暴動が起き、我が国においても国内における食料自給率の向上への国民意識の高まり、中国からの輸入食品の農薬混入問題、事故米の問題等食の安全が問われた年でもありました。

こうした中で、JAグループ北海道は、本道の経済界をはじめ道民とともにWTO農業交渉に対する要請を実施するとともに、肥料・燃油、配合飼料高騰に対する支援対策を要求し、政策実現を果たしたところでもあります。この政策によって、全道の農家経済の危機的な状況が回復されることが期待されますが、深刻な打撃によって、脆弱となった生産基盤を回復するためには、長期的な農業政策の確立が求められており、今後ともJ

Aグループ北海道の総力を挙げて一層の努力・尽力することを肝に銘じているところであります。

本年は、昨年からJAグループ北海道が提供しているテレビ番組「森崎博之のあくり王国北海道」をはじめメディアを積極的に活用して、農業の現場から食卓へ情報を発信し、今後とも安全・安心な農畜産物の供給を通じて、消費者の皆さんから信頼され、選ばれ、そして北海道農業を応援して頂けるような取組をして参ります。

次にJA経営であります。JA合併事業については、推進重点ケースに対する最終推進年となっております。これらケース実現に向けた取組みを推進することとしております。JAが組合員の期待に応え、そして地域で信頼され、貢

献できる存在となるために経営の健全性の確保に向けた諸対策に取り組んでいきます。

さらに、JAグループ北海道全体のコスト低減に向けて、連合会の子会社をはじめ農業関連団体の組織整備・機能強化に積極的に取り組む所存であります。

最後に、米国発の金融不況による世界経済の低成長や、WTO農業交渉等国際化の波が、私ども農業界にも本年大きな影響を与えることが懸念されます。今こそ、全道の農家組合員の皆さんをはじめ役員が「一人は万人のために、万人は一人のために」という協同組合の理念をより所にして、JAへの結集を強め、協同運動を強力に展開してこの苦境を打開することが必要であります。

本年も災害がなく豊稔の出来秋を迎えることができそうです。心から祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。



# JA上川中央 青年部



愛別支部部長 奥山 泰久

「新年あけましておめでとうございませう」

平成21年の新春を青年部員の皆様方と迎えられた事を心よりお慶び申し上げます。

昨年中は、皆様方の御理解、御協力により青年部活動が出来ました事に對しまして厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、積雪の少ない雪解けの早い春、その後は、一部道東で天候の被害があった程度で、実り良い秋を迎える事が出来た年でした。水稲においては、全国の作況指数102、上川107と、前年を上回る収穫の秋でしたが、原油、肥料材料、飼料価格の高騰により、水田、畑作、酪畜、きのこと経費の掛かった年ではなかったでしょうか。原油、飼料価格については、値を下げて来ていますが、世界金融危機、円高、ドル安という事で、消費需要が輸入物へと変わりつつ有るのではと予想もされています。

また、WTO世界貿易交渉は、昨年度内の合意を断念と言う事で、今後も農業生産者の声、要求がどれだけ受け入れられるか、予断の許さない状況です。

そして、残留農薬餃子、産地偽装、事故米流通問題など、食品に関する事件、事故の報道が多く取りざたされた年でも

ありました。私たち生産者は、生産履歴の徹底をはかり消費者に、信頼される食の安全、安心を訴えていく必要が有ります。

さて、青年部活動では、肥料空袋回収、きのこの里フェスティバル、上川支部青年部との交流、町青年会議、上青協活動などの行事に積極的に参加し交流を深めて参りました。

道青協海外研修では、ヨーロッパへ星肇君が参加しました。

全道青年部大会では、第4回力自慢アームスリング大会で、成田真市君が上川地区の予選で強豪を見事に破り、上川地区代表として全道大会へ出場しました。約650名の盟友の前で、見事な戦いぶりを披露しました。

上川地区の盟友一丸となって応援し、4位という結果でした。

農協合併2年目の今年、上川支部青年部との意見、情報交換などますます交流を深めて参ります。

部員一同並びに組合員関係各位の御健勝をお祈り申し上げますと共に尚一層の御指導、御協力を頂きます様御願ひ申し上げます。年頭の挨拶とさせていただきます。



上川支部部長 新井 隆嗣

「新年にあたり」

新年明けましておめでとうございませう。組合員の皆様には、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

皆様には、日頃から青年部の事業運営に對し深くご理解と温かいご支援を賜りましたことを厚く御礼申し上げます。

昨年は我々にとって新たなスタートの年であったと思います。それぞれが約60年の歴史を刻んだ愛別農協・上川農協も合併により上川中央農協へと名称を変え、組合員数も645名となりました。

我々青年部も60名を超える盟友数となり、交流会等を開催し、親睦を深めながら活動をしてまいりました。

今年度におきましても、積極的な情報交換等を交わし、上川中央農協青年部としての統一事業も展開しながら、今後それぞれの地域を守る「担い手」として更に活動の幅を拡げていきたいと考えております。

昨年を振り返りますと、水稲においては夏場の高温に恵まれるなどおおむね好天で順調に生育したのが要因となり、作況指数が全国平均で102、上川地区では107と豊作になり、豊作を受けた米の下落を防ぐための「集荷田滑化対策」

も3年ぶりに発動しました。

一方、畜産においては、近年の原油価格の上昇にともない飼料を始めとしたあらゆる生産資材の価格が高騰し、大変厳しい一年となりました。輸出に関しては上半期の前年対比が急増していたものの、ここに来て世界的な金融不安と円高の影響などで今後どのような動きとなるか注目されるところです。

また、今や「食の安心・安全」は当たり前の時代ですが、食品の産地偽装や農薬混入などは後を絶たず、国内消費は低迷しています。

このような大変厳しい状況の中ですが、我々青年部は、両親や諸先輩方が築きあげた生産基盤を最大限に活かし、担い手として、また一人の農業者として、自らが生産した農畜産物に付加価値を加え新たな販売開拓が重要であると考え、その一役を担うため努力してまいります。

最後に、部員一同並びに組合員関係各位には一層の御指導、御協力をいただきます様御願ひ申し上げます。年頭の挨拶とさせていただきます。

# JA上川中央 女性部



「新年あけまして  
おめでと〜ござります」

愛別支部部長 藤原 幸子

JA女性部員の皆様と共に新しい年を迎えることができましたことを心から嬉しく思います。常日頃、皆様には様々な形で、深いご理解と温かいご支援とご協力を賜り心から感謝を申し上げます。

さて、昨年は上川と愛別の2JA合併の記念すべき年でした。女性部も「いずれ合併するのなら早い方が良い。」との思いから役員段階で話し合いを進めて参りましたが至らず、当分は現状でお互いに支部活動を続けることに。でも昨年の一日研修やボーリング大会のように合同で企画できることは一緒にと、とどめたところです。

JA全道女性大会・全道家の光大会のスローガンは、平成19年度より新三力年計画「JA女性 かわろう かえよう STEP2」食と農を育む未来計画」とし、本年は3年目を迎えますが、何かを変えたいということは時間を要するのだと思います。

そういえば、昨年の世相を表す漢字として「変」が選ばれました。日本の農業も変革の時、意欲のある農家をきつちりと守り育てるという農政の明確な展望が必要だと思えます。

女性の暮れに農協懇談会がありました。女性部組織のことで戸惑っていた私は、女性部の位置付けや農協役員の考え方を伺いました。

新井組合長は、自然体で楽しめるイベント等を企画して、もっと楽しむことも大切だ。立場で動く重荷になることもあるだろうし、JAの下部組織ばかりでは固すぎるのもっと気を柔に意識を変えたいとおっしゃって下さいました。

私たちは、農業経営のパートナーであり、主婦として母として妻としてわが家の太陽でもあります。家族の健康を願い心豊かでゆとりとふれあいのある住み良い地域社会づくりを実現させましょう。「JA女性部って何か楽しそう」と女性部活動に参画しましょう。今年はずいぶんです。動きはゆっくりでも一歩一歩確実に歩みたいものです。

一年の計は元日にあり。笑う門に福来る。明るくニコニコしている人には、自然と幸せがやってくるのか。さあ、皆でゆつくりと深呼吸をしましょう。

本年も希望に満ちた健やかな幸多い一年となりますよう、心から願いを込めて新年のご挨拶とさせていただきます。



「新年にあたり」

上川支部部長 辰巳 明美

新年あけましておめでと〜ございます。農協女性部の皆様におかれましては、平成21年の新春を健やかに迎えの事と心よりお慶び申し上げます。昨年は、愛別と上川の2つのJAが合併し新しくJA上川中央と名称を変え新たな歴史を歩み始めました。

JA上川中央女性部上川支部につきましても、ペットボトルを使ったイス作りやミニユニティ花ボランティア、愛別上川合同での女性部1日研修、第1回蕎麦まつり、Bブロック研修会、か夢かむでのふるさと交流事業「星澤幸子先生講演会」等、皆様のご支援ご協力によって女性部としての活動をして参りました。本年は女性部とフレッシュミズの活動において、ご家族や地域の方々との輪を作り、多様化するライフスタイルの中で、農業女性者らしく「地産地消」や「地球温暖化」の意識をもって、エコライフ運動を実践したいと思えます。

また、作況につまみしても天候に恵まれ皆様の努力と天の恵みのおかげで、豊作の秋となり例年になく良質米を出荷できました事に重ねてお慶び申し上げます。めまぐるしく変化していく農業情勢の

中で、昨年は残留農薬に関する問題や産地偽装、事故米流通問題など消費者の信頼を裏切る事件や問題がありました。

私たち農業者は今こそ食の安全に対し、注意、意識を怠ってはならない事と、努力を惜しまず今何をすべきか、何が出来るのか、よく考え消費者の信頼を回復できるよう、一つ一つ実践していかなければならないと考えております。

現在の農業情勢が大変だと嘆くよりも「モウッシウッシ」と笑って暮らしましょう。「笑う門には福来る」健康や愛も来ますよ。笑顔に勝るものはなし。

最後になりましたが、関係各位の皆様には変わらぬご指導ご協力をお願い申し上げます。

新しい年が皆様にとって良い年でありますようにお祈り申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。





# 事がありません

6月26日 きのごゴルフコンペ



2月1日 JA上川中央発足



7月2日 農協女性部1日研修



4月14日 「か夢かむ」オープン



8月14日 あいべつ夏祭り



6月13日 フラワーハーモニー事業



5月 田植え作業最盛期



# 2008年 こんな

9月19日 田んぼの学校稲刈り



9月 稲刈最盛期



8月28~29日 上川中央農協青年部町外視察研修



9月14日 きのこの里フェスティバル



8月30日 JA上川中央上川地区組合員感謝祭



11月21日 上川町産「溪谷・味豚」説明会・試食会



10月21日 あぐり王国in愛別





## 「飲酒運転」は犯罪です！！

飲酒運転は事故を起さなくても、運転免許の取消し又は停止の処分になるほか、以下のように罰せられます。

### 酒酔い運転

**5年以下の懲役 又は 100万円以下の罰金**

運転免許の行政処分点数：25点

### 酒気帯び運転

**3年以下の懲役 又は 50万円以下の罰金**

運転免許の行政処分点数：(0.25mg/ℓ以上) 13点

(0.15mg/ℓ以上 0.25mg/ℓ未満) 6点

## 罰せられるのは運転者だけではありません！！

酒気を帯びていて飲酒運転をするおそれがある者に対して車両を提供した者、飲酒運転をするおそれがある者に対して酒類を提供した者、運転者が酒気を帯びていることを知りながら自己の運送を要求・依頼してその車両に同乗した者も処罰の対象となります。

### 運転者が酒酔い運転の場合

- ・車両の提供者は5年以下の懲役 又は 100万円以下の罰金
- ・酒類の提供者は3年以下の懲役 又は 50万円以下の罰金
- ・車両の同乗者は3年以下の懲役 又は 50万円以下の罰金

### 運転者が酒気帯び運転の場合

- ・車両の提供者は3年以下の懲役 又は 50万円以下の罰金
- ・酒類の提供者は2年以下の懲役 又は 30万円以下の罰金
- ・車両の同乗者は2年以下の懲役 又は 30万円以下の罰金

飲酒運転ゼロへ。  **JA共済**



## 星澤幸子講演会



11月29日上川町たへもの交流館が夢がむで星澤幸子先生をお招きし、講演会・料理の実演・試食会を行いました。星澤先生による「世界一の大地の生かし方」をテーマに、北海道を生かした食と健康に関するお話や北海道を世界一の町にするお手伝いをしたいとの抱負を頂きました。

講演はユーモアあふれる講演で出席者は終始笑顔で講演を聞き、講演会後の料理の実演ではじゃがいものバター煮、千切りじゃがいもの味噌焼き、きのこの炊き込みご飯、牛肉大根鍋の4品を料理して頂き、出席者全員で料理を試食し「おいしい」と大好評でした。

## 上川管内JA女性部Bブロック研修会



11月28日、JA東神楽2階大会議室において上川管内7地区のJA女性部で構成される上川中央地区Bブロック研修会が開催され、当JA女性部からも愛別支部から部員10名上川支部から部員17名が参加しました。

研修会では、五輪橋産科婦人科小児科病院の丸山淳土名誉理事長より「健康と豊かな人生」をテーマに講演が行われました。

講演では健康に生活していく為に日々の生活を振り返る機会を与えて頂きました。

午後からは石上豊子講師による「フワアレンジ」を行い、参加者は生花をそれぞれの個性で飾りつけました。

閉会式では、次回当番の当JA女性部愛別支部藤原部長より次回研修会にむけて、抱負を頂きました。

## 上川地区JA青年部大会



11月21日旭川市トーヨーホテルにおいて上川地区JA青年部大会が開催されました。

愛別支部より3名、上川支部より3名が参加し、JA青年部活動実績発表では上川支部清野佳朗さんが「肉十米十野菜Ⅱ∞（可能性は無限大であることを信じて）」をテーマに上川町の紹介、青年部の概要、活動等について発表し、みごと優秀賞に輝きました。

その後懇親会でのアームレスリング大会では、愛別支部成田信市さんが各地区JA青年部の代表選手の中トーナメント戦を勝ち上がり見事優勝し、全道大会への切符を手に入れました。

上川地区JA青年部大会では愛別支部、上川支部ともに大活躍の一日でした。

## 伏せこみアスパラ 出荷打合せ



11月27日伏せこみアスパラの出荷打合せが比布町菅原正義さん宅で行われました。

伏せこみアスパラは、12月上旬から出荷される予定で未来農園さんと美土里さんが出席し、品質規格の統一や出荷日程等について打ち合わせしました。

定例理事会報告  
第10回

11月27日開催、その概要を報告致します。

(報告事項)

- 1、組合員の加入、出資譲渡、脱退の報告について
  - 2、要領の制定について
  - 3、平成20年度JA共済コンプライアンス点検結果について
  - 4、平成20年度上半期「JAの経営状況に関する報告」について
  - 5、平成20年度第3・四半期仮決算見込みについて
  - 6、平成20年度事業実施状況について
- (議決事項について)
- 1、組合員の出資減口について
  - 2、規程の改正について
  - 3、平成20年度地区別懇談会の開催について
  - 4、農事組合活動助成金の支出について
  - 5、年末贈答品の贈呈について
  - 6、集荷円滑化米の仮渡単価の設定について
  - 7、平成21年度肥料価格の設定について
  - 8、短期資金の融資について
  - 9、長期資金の融資について

JAのあゆみ  
12月

- 1日～5日 内部監査(営農販売課) 定例企画会議
- 2日 愛別町米麦生産振興協議会役員会 総務・金融正副委員長会議 監査講評
- 3日 肥料・燃油高騰対策事業説明会
- 4日 農業簿記記帳支援事務委託業務変更説明会
- 6日 上川地区農事組合長会議 上川地区農協懇談会
- 8日～10日 内部審査(上川支所) 地域振興・農産・畜産
- 9日 愛別町青色申告会 税務研修会 愛農機連三役並びに役員会 愛別町畜産振興基金運営協議会 企画会議
- 12日 第11回理事会
- 17日 深谷・味豚初売り
- 19日 上川町もち米生産団地組合反省会 青色申告会年末調整説明会 企画会議
- 24日 総務・金融・営農・経済正副委員長会議
- 25日 米麦振興生産協議会
- 26日 第2回臨時理事会
- 27日

**組合員のうごき**

(平成20年12月17日現在)

正組合員戸数	413戸
組合員数	2,637名
うち正組合員数	636名
うち正団体数	30団体
うち准組合員数	1,896名
うち准団体数	75団体

# 年金友の会 温泉湯治のご案内

本年から、農協合併に伴い愛別・上川合同での温泉湯治を実施致します。カラオケやビンゴ大会など(参加賞・商品盛りだくさん)を計画しておりますので、多数の参加をお待ちしております。

- ◆日 程／平成21年1月20日(火)～1月23日(金) 3泊4日
- ◆場 所／上川町層雲峡温泉「ホテル大雪」
- ◆負担金／一人18,500円
- ◆申込期日／平成21年1月13日(火)

※詳しくは、貯金係にお問い合わせ下さい。  
[お問い合わせ先] 愛別地区 ☎6-5312 上川地区 ☎2-1111

